

「学級活動(1)」の指導案参考例

学級活動指導案(小学校の例)

令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時
第〇学年〇組(〇名) 指導者 〇〇 〇〇

「議題名」ではなく、「議題」と記述する。

1 議題 「〇〇の会をしよう」

2 評価規準と目指す児童の姿

議題ごとに評価規準を設定するのではなく、各学校で定めた評価の観点に基づき、低・中・高学年ごとに評価規準を設定します。



観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。 ○ 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。 ○ 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。 		

- 教師の適切な指導の下で、児童が生活上の諸問題を発見し提案できるようにします。
- 児童の学級生活における実態や、学級活動における実態などについて記述します。
- 議題が選定された背景や、教師の願いや指導観等について記述します。

3 議題について

(1) 児童の実態

- 児童の学級生活における実態や、これまでの学級活動における指導の経緯等について記述する。

(2) 議題選定の理由

- 取り上げる議題の内容、今まで取り組んできたこととの関連、その議題を取り上げる意義、議題と児童との関連などを記述する。

(3) 指導観

- 議題のねらいや児童の実態を踏まえながら、ねらいを達成するための指導や支援の手立てなどについて、指導の流れに沿って具体的に記述する。
- 議題やねらい、活動に応じて、教材・教具、資料の選択、グループ活動や事前・本時・事後の活動、様々な表現の場づくりなどを具体的に示すよう記述する。
- 該当学年の評価規準から、話し合い活動における課題や目指す方向性などを記述する。

4 学校課題(研究主題)との関連

- 学校課題と関連がある場合は、学校課題に迫るための授業の組立てや指導の重点、具体的な手立てなどを議題レベルでまとめる。

5 人権教育の視点

- 本時のねらいや学習内容、指導方法と「育てたい資質・能力等」との関わりを記述する。

6 生かしたい児童

- 本時の中で生かしたい児童を設定し、授業において意図的に支援する。



7 活動及び指導と評価の計画

「日時」や「活動形態」(計画委員会の活動か、学級活動か全員の活動か)なども記述する。

学級全員の「問題の発見」から「振り返り」までの活動、計画委員会の活動について記述する。

児童が左の活動を行う上で、何をどのように工夫したり配慮したりするか等を記述する。

評価規準に即して、本時の展開における「目指す児童の姿」を示しておく。

活動	日時 【活動形態】	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法	
事前	計画委員会の活動	5/11(月) (業間休み) 【計画委員会①】	・提案ポストの議題案を確認し選定する。	・学級全員で話し合うべき問題かどうかを考え選定するようにする。 ・選定した議題について全員に知らせ、承認を得るようにする。	【主体的に取り組む態度】 ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 (提案カード・観察)
		5/12(火) (昼休み) 【計画委員会②】	・活動計画を作成し、学級会ノートを準備する。	・みんなが理解できる提案理由になるよう提案者に助言する。	【知識・技能】 ・〇〇の会を開くために、話し合うことの意義を理解している。 (委員会活動計画・観察)
		5/14(木) (昼休み) 【計画委員会③】	・全員の学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるよう助言する。 ・必要に応じて短冊に記入する。	
	学級全員の活動	5/11(月) (帰りの会) 【学級全員①】	・議題を決定する。	・計画委員会の提案を基に、全員で決定するようにする。	【主体的に取り組む態度】 ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (提案カード・観察)
		5/13(水) (帰りの会) 【学級全員②】	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていること(条件)が共通理解できるよう必要に応じて助言する。	【思考・判断・表現】 ・〇〇の会の目的に合った意見を考え、判断し、学級会ノートに書くことができる。 (学級会ノート)
		5/15(金) (朝の会) 【学級全員③】	・教師からの言葉等が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	
本時	話し合い 5/15(金) (第5校時) 【学級全員】	※「8 本時の展開」を参照	【キーワード】 学級活動(1)「学級や学校における生活上の諸問題の解決」 【学習過程】 [①問題の発見・確認⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定⇒④決めたことの実践⇒⑤振り返り⇒⑥次の課題解決へ]		
事後	実行・振り返り	5/15(金) (帰りの会)	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・係の役割分担をする。	・学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう、計画委員に助言する。	【主体的に取り組む態度】 ・準備や集会に進んで取り組もうとしている。 (観察) 【思考・判断・表現】 ・集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。 (観察・振り返りカード)
		5/18(月)～20(水) (休み時間)	・係の準備	・協力したり、工夫したりして活動している児童を賞賛する。 ・自分の態度を振り返り、今後の生活づくりに生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるよう助言する。	
		5/22(金) (第5校時)	・「〇〇の会」をする。 ・集会終了後、感想を記入する。		

※ 「事前の活動」「本時の活動」「事後の活動」を、別々に項立てて記述してもよい。

※ 学級会に向けた「計画委員会」の活動の計画は、①議題の選定、②活動計画の作成・学級会ノートの準備、③学級活動コーナーへの掲示、④学級会での役割分担、⑤進行の確認などの活動などが考えられる。

※ 学級会までに「学級全員」が行う活動の計画は、①議題の決定、②学級会ノートへの記入などの活動が考えられる。

※ 「計画委員会の活動」と「学級全員の活動」を統合して記述してもよい。

※ 「事後の活動」は、友達と協力しながら、責任をもって取り組むことができるよう、「児童の活動」や「指導上の留意点」に記述する。

8 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 提案理由を踏まえた話し合いを展開するために、本時の活動で特に留意する点を考え、簡潔に記述する。

- 低学年など、児童が作成することが難しい場合は、教師が記述することも考えられます。
- 低学年は活動計画とは別に、必要に応じて司会の台本を使用することもあります。徐々にその場で考えて進行できるようにします。
- 計画委員会の児童が作成した活動計画を指導案に添付することが望ましいです。




(2) 児童の活動計画

第〇回学級会 活動計画		令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)第〇校時	
議題	〇〇の会をしよう		
役割分担	※司会・黒板記録・ノート記録・提案者など児童名を記入する。 (一般的に、中学校では、議長・黒板書記・ノート書記という名称を使っている。) ※ <u>輪番制により、どの児童も司会、記録等を経験できるようにする。</u>		
提案理由	※教師とともに作った提案理由について書く。		
話し合いのめあて	友達やクラスのよさを発見できる〇〇会を計画しよう。		
決まっていること	〇月△日(◇) □時間目を実施する。教室で実施する。等		
話し合いの順序	時間	気を付けること	準備
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題・提案理由の確認 4 めあて・決まっていることの確認 5 話し合い (例) 6 決まったことの発表 7 話し合いの振り返り 8 先生の話 9 おわりの言葉		○話し合いを進める際の留意点、予想される対立への対処方法等について、計画委員会で話し合い、記述しておきます。 ○計画委員会の児童が、進行に即して気を付けることを記述しておきます。学級会ノートに予め様式を決め印刷しておき、児童が書き込めるようにしておくとういでしょう。	(例)①どんな遊びをするか。 ②どんな工夫をするか。 ③どんな係が必要か。 等



(3) 教師の指導計画

※「◎人権教育上の配慮」等について記載する。

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員の自己紹介</p> <p>3 議題・提案理由の確認</p> <p>4 めあて・決まっていることの確認</p> <p>5 話し合い</p> <p>(例)①どんな遊びをするか。</p> <p>②どんな工夫をするか。</p> <p>③どんな係が必要か。等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員として自分のめあてが言えるように、事前に指導する。 ・提案者の思いを全員が理解し、話し合いの指針となるように事前に指導する。 ・理由を付けて発表できるように助言する。 ・提案理由を意識し、みんなで楽しめる内容が提案できるよう助言する。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。 ・発言者が偏らないよう助言するとともに、なかなか発言できない児童や、進んで参加できない児童には個別に助言する。 ・少数意見であっても、発言の機会を与える。 ・自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、「折り合い」を付けることも必要であることについて助言する。 	<p>◎評価の観点を明確にするために、評価規準に即して、本時の展開における「目指す児童の姿」を具体的に示します。</p>  <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を踏まえて、集会の目的に合った内容や係について考え、発言したり、友達の意見を参考にして、新たな意見や改善案を出したりしている。 <p>〈観察・学級会ノート〉</p>
<p>6 決まったことの発表</p> <p>7 話し合いの振り返り</p> <p>8 先生の話</p> <p>9 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを収束し、学級みんなの総意をまとめて発表できるようにする。 ・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点などについても相互評価ができるように助言する。 ・提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、意欲的に参加していた児童を賞賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へ労いの言葉をかけるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉かけをする。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合意形成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。〈観察〉

・自分の考えとは異なっているも、自分たちで決めたからには協力し合って実践するという合意形成の重みを感じられるようにします。



◇「学級会ノート」の例◇

第 回 学級会ノート			月 日 ()	校時	
年 組 番			氏名		
◆議題					
◆提案理由					
◆話し合いのめあて					
◆決まっていること					
◆司会グループ	司会 ①	②	黒板記録 ①	②	ノート記録
話し合うこと	自分の意見（理由もしっかり書こう）				
(1)					
(2)					
(3)					

<振り返り>

☆ めあてを考えて、話し合うことができましたか。	よくできた できた もう少し
☆ 友だちの意見のよいところを考えながら、聞くことができましたか。	よくできた できた もう少し
☆ 自分の意見を進んで発表できましたか。	よくできた できた もう少し
☆ 決まったことや自分がこれから何をしたらよいのかが分かりましたか。	よくできた できた もう少し
☆	よくできた できた もう少し
【感想】（自分のがんばったところや友だちのよかったところなど）	

※ 学級会ノートは、話し合いについて学級全員の共通理解を図るとともに、各自が自分の考えを整理したり、振り返ったりするためなどに活用します。

※ 共通部分(◆)については、計画委員会が事前に記入して印刷、配布します。

※ 事前に考えを整理・記入して話し合いに臨めるようにしましょう。

※ 「振り返り」の項目には、空欄を設けておき、必要に応じてそれぞれの議題に合った項目を入れることも考えられます。

※ 学級活動（２）（３）の授業で使用した資料と合わせてファイルにとじ、１年間の学級活動の振り返りに活用しましょう。